番号	WD10
環境文書	

エコアクション２１

2023年度(期間：2023.4.1～2024.3.31)

環 境 経 営 レ ポ ー ト

2024年5月　発行

若　宮　商　事　株　式　会　社

埼玉県深谷市上野台2060-1

【TEL】　048-573-2112

【FAX】　048-573-2813

【URL】　http://www.wakamiyacorp.co.jp

1. 組織の概要

1)事業所名　若宮商事株式会社

代表者名　代表取締役　木暮　士

2)設立年月日　1970年8月6日

3)資本金　1,000万円

4)関連事業所
・ｱﾙﾐﾘｻｲｸﾙ事業部(熊谷支店及び熊谷ﾘｻｲｸﾙ工場)
・ﾒﾀﾙﾘｻｲｸﾙ事業部(特殊金属ﾔｰﾄﾞ)

5)所在地

5-1)本社及びｸﾘｰﾝﾘｻｲｸﾙ事業部及びｱﾙﾐﾘｻｲｸﾙ事業部輸送・原料　埼玉県深谷市上野台2060-1

5-2)関連事業所

5-2-1)ｱﾙﾐﾘｻｲｸﾙ事業部熊谷支店及び熊谷ﾘｻｲｸﾙ工場　埼玉県熊谷市三ヶ尻3745-2

5-2-2)ﾒﾀﾙﾘｻｲｸﾙ事業部特殊金属ﾔｰﾄﾞ　埼玉県深谷市人見263

6)環境管理責任者氏名及び連絡先　代表取締役　木暮　士
埼玉県深谷市上野台2060-1　048-573-2112

環境管理連絡者　藤澤　康弘

7)事業の概要　ｱﾙﾐﾆｳﾑ原料全般集荷溶解、ｱﾙﾐﾆｳﾑ各種二次合金の販売、ｱﾙﾐﾆｳﾑ委託精錬、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、一般貨物自動車運送、非鉄金属・特殊金属・製紙・製鉄原料集荷販売

8)事業規模等

当社の「2019年度から2021年度まで３年間」の事業規模を以下に示す。

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	3,579	3,967	3,837
従業員数	人	39	41	42
延べ床面積	㎡	3,371	3,371	3,371
ｱﾙﾐﾆｳﾑ二次合金生産量	t	7,995	7,429	7,590
産業廃棄物収集運搬量	t	2,943	2,506	2,660

9)再生資源取扱量　ｱﾙﾐ10,369.2t　ｽﾃﾝﾚｽ 3,098.2t　銅 697.3t　雑品888.7t　紙類54.1t

10)リサイクルに使用する処理施設の種類・規模　15ton前炉付反射炉1基　2ton回転炉1基　1ton可傾式坩堝炉2基　灰絞機1基　冷灰ｷﾙﾝ1基　5kg塊連続鋳造機1基　地金自動積載機1基　ﾛｰﾀﾘｰｷﾙﾝ(切粉前処理装置)1基　2軸破砕機1基　乾式集塵機1基

2.対象範囲

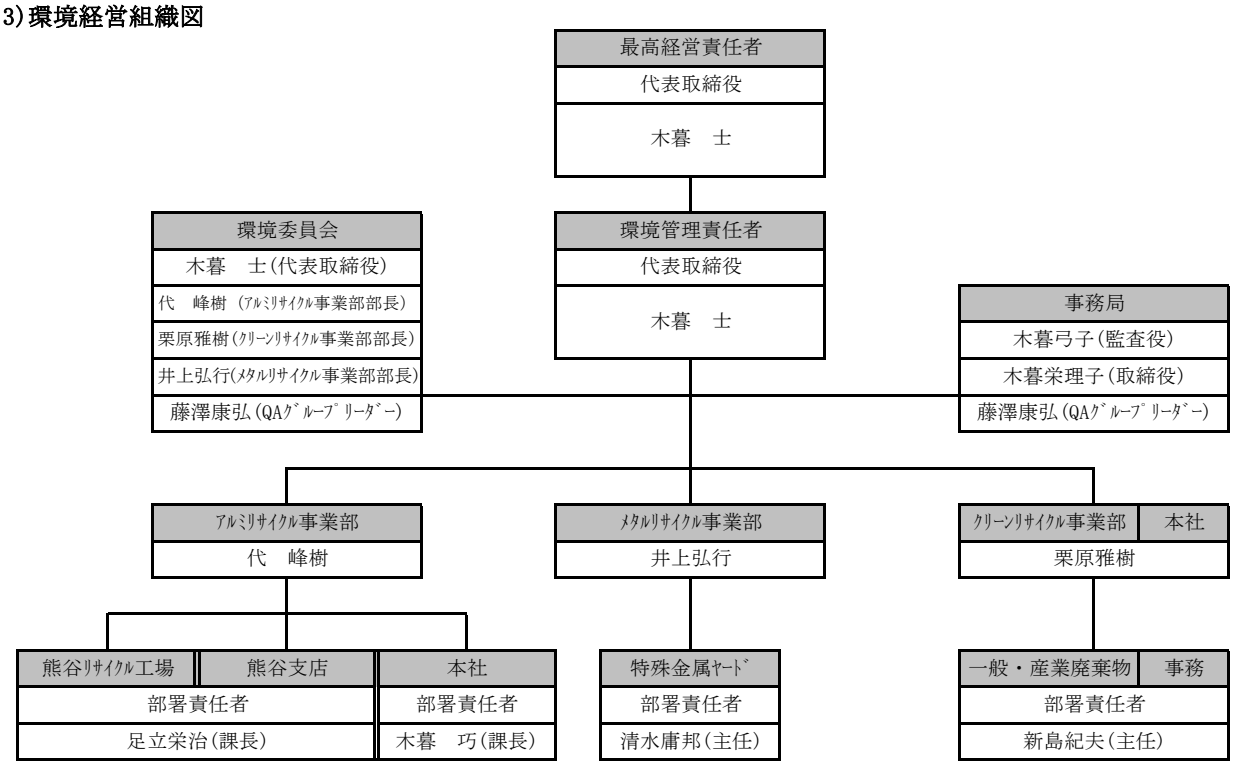
1)認証・登録の対象活動範囲　若宮商事株式会社の全組織及び全活動とする

2)環境活動ﾚﾎﾟｰﾄの対象期間及び発行年月

2-1)期間　2023年4月1日から2024年3月31日の一年間

2-2)発行年月　2024年5月　発行

3)環境経営組織図



4) 収集運搬許可証

4-1)事業計画の概要

産業廃棄物の収集運搬量について、2023年度は前年度に比較して105%増加を計画目標とした。

4-2) 産業廃棄物の収集運搬許可証

産業廃棄物の収集運搬許可証については、取り扱う産業廃棄物の種類を含み、以下に示す。

都道府県 市名	取得 年月日	許可番号	取り扱う産業廃棄物の種類																有効期限
			燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器等くず	鉱さい	ガレキ類	ばいじん	
東京都	R5.4.7	13-00-000189	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	R10.4.6
栃木県	R3.5.14	00900000189		○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○		R8.5.13
茨城県	R4.1.27	00801000189	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.11.26
群馬県	R4.9.1	01000000189	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		R9.8.31
埼玉県	R4.3.10	01104000189	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R9.3.9
福島県	R3.9.1	00707000189		○	○			○		○		○		○	○		○		R8.8.31
千葉県	R2.2.21	01200000189	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R7.1.6

4-3）一般廃棄物の許可証

一般廃棄物の収集運搬許可証を以下に示す。

	深谷市	熊谷市	行田市	本庄市
許可番号	第62号	指令熊廃許可第57号	指令行環第50号	許可第229号
取扱い廃棄物の種類	一般廃棄物(ごみ)	一般廃棄物(ごみ)	一般廃棄物(事業系廃棄物)	特定家庭用機器廃棄物
収集運搬及び処分の別	収集運搬	収集運搬	収集運搬	運搬(荷卸しに限る)
許可年月日	R6.4.1	R5.10.1	R5.5.1	R5.4.1
有効期限	R8.3.31	R7.9.30	R7.4.30	R7.3.31
営業区域	深谷市内	熊谷市域	行田市内	本庄市全域

4-4）収集運搬車輌

収集運搬用保有車両を以下に示す。

用途	車種	台数	登録
収集運搬	ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ	7	産廃
収集運搬	ｺﾝﾃﾅ専用車	3	産廃
収集運搬	塵芥車	5	産廃
収集運搬	清掃車	1	産廃
収集運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟ	1	産廃

4-5）積替保管施設　　積替保管施設は無し

4-6）2023年度産業廃棄物収集運搬量

2021年度から2023年度までの収集運搬量を以下に示す。

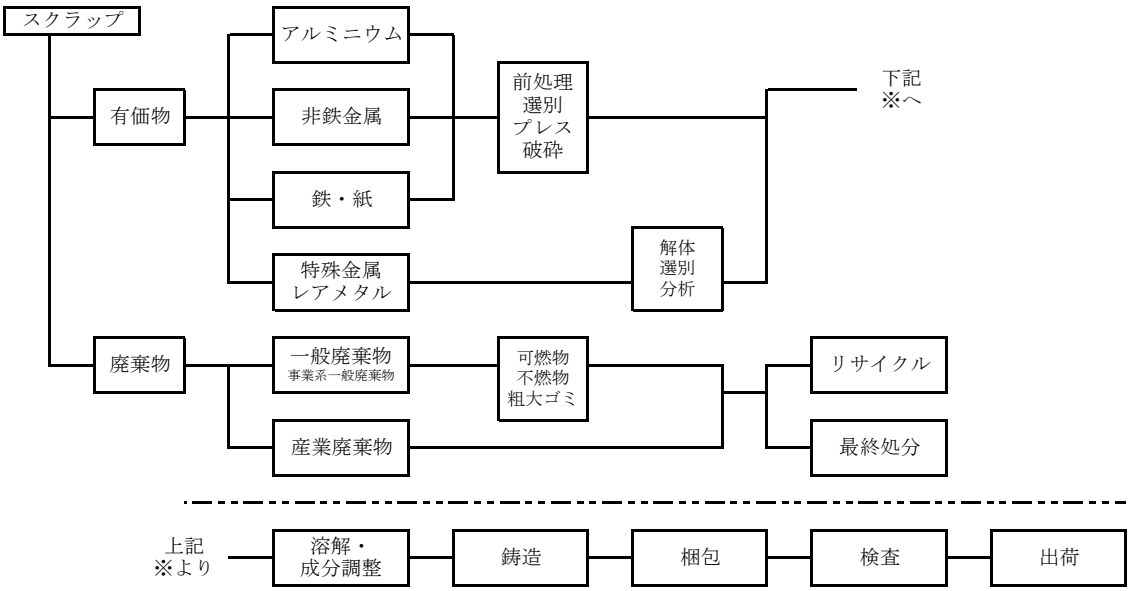
2023年度は、産業廃棄物収集運搬量で前年対比106%、一般廃棄物収集運搬量で前年対比93%となった。

要因として新型コロナウイルスの規制緩和により発生量が多少増加傾向ではあるが未だ安定していない為。

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
産業廃棄物収集運搬量	t	2,943	2,506	2,660
一般廃棄物収集運搬量	t	1,177	1,219	1,132

4-7）処理料金　　4,000～6,000円/t　　但し、詳細は見積りによるものとする。

5）リサイクル工程図



3. 環境方針

当社の環境経営方針を以下に示す。

環　境　経　営　方　針

理　念

若宮商事（株）は『限りある資源だから、もっと有効に再利用する』を社是として資源リサイクル・廃棄物適正処理を通して地域社会に貢献することを基本理念にしている。

しかし、その過程において資源・エネルギーの消費、廃棄物の発生等、地球環境に様々な影響を与えていることも事実である。このことを真摯に受け止め、当社は全ての企業活動を通じて「地球環境保全」に努め、地域社会への責務を果たしていく。

方　針

１．　私たちのリサイクル資源を回収し、特にアルミニウムは溶解し二次合金の生産(リサイクル)をし、また、廃棄物の収集運搬等を業としている活動が、地球環境と深く関連していることを明確にとらえ、環境目的・目標・プログラムを定め、それらを必要に応じて見直し、環境経営システムと環境保全活動の継続的な改善をはかります。

２．　国、地方公共団体などの環境法規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に自主的・積極的に取組みます。

３．　特に次の項目について優先的に活動し、環境保全と汚染防止に取組みます。

①資源リサイクル・廃棄物の適正処理を推進します。
②大気汚染に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
③廃棄物の排出を抑制し、分別・保管・処分等の管理を徹底します。
④省エネルギー、省資源、水使用量の削減を推進します。
⑤グリーン購入を推進します。

４．　従業員一人ひとりの環境保全意識の向上をはかるため、教育・啓発活動を継続的におこないます。

５．　良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～　この環境方針を社内外を問わずに公表致します　～

２０１６年１１月　１日

若　宮　商　事　株　式　会　社

代表取締役社長　　木　暮　　士

4. 環境目標

1)環境経営目標と環境経営計画

2022年度の環境経営計画の取組結果を基準とし、今年度及び次回の目標を纏めたものが以下の表である。

環境経営目標		単位	担当	環境経営計画 (達成する手段)	2022年度 (基準値)	2025年度 (3年後目標)	2023年度 目標値
ｴﾈﾙｷﾞｰ投入量の削減 A重油　(原料投入量当り)	熊谷 ﾘｻｲｸﾙ工場	L/t	足立栄治	燃焼の効率化 (ﾊﾞｰﾅｰ調整・原料投入の工夫等)	125.78	125.72	125.72
		増減				0.05%減	0.05%減
ｴﾈﾙｷﾞｰ投入量の削減 軽油　(走行距離当り)	本社 (輸送･原料)	L/Km	木暮　巧	輸送の効率化 経済運転(無駄なｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ等)	0.342	0.341	0.341
		増減				0.05%減	0.05%減
ｴﾈﾙｷﾞｰ投入量の削減 軽油　(走行距離当り)	本社 (一般･産業廃棄物)	L/Km	栗原雅樹	経済運転 (無駄なｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ・回転数調整等)	0.229	0.228	0.228
		増減				0.05%減	0.05%減
ｴﾈﾙｷﾞｰ投入量の削減 軽油　(機械稼働時間当り)	特殊金属 ﾔｰﾄﾞ	MJ/h	井上弘行	経済運転 (無駄なｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ・回転数調整等)	182.86	182.77	182.77
		増減				0.05%減	0.05%減
温室効果ｶﾞｽ排出量抑制 購入電力(原料購入量当り)	本社	MJ/t	木暮　巧 代　峰樹	設備運転のﾑﾀﾞ取りと こまめな照明の消灯、 空調の適温化	56.40	56.37	56.37
		増減				0.05%減	0.05%減
温室効果ｶﾞｽ排出量抑制 購入電力(原料投入量当り)	熊谷 ﾘｻｲｸﾙ工場	MJ/t	足立栄治 代　峰樹		501.39	501.14	501.14
		増減				0.05%減	0.05%減
廃棄物の排出抑制 (裏紙の再利用等) (従業員数当り)	全社	kg/人	栗原雅樹 (各部署責任者)	一般廃棄物の排出量の削減及び使用済用紙の裏紙の利用と分別で有償物(紙)を増やしﾘｻｲｸﾙ率100%を目指す	6.76	6.75	6.75
		増減				0.05%減	0.05%減
水資源(上水)投入量削減 (従業員数当り)	本社	m^3/人	栗原雅樹	手洗い等の節水	12.30	12.29	12.29
		増減				0.05%減	0.05%減
水資源(上水)投入量削減 (原料投入量当り)	熊谷 ﾘｻｲｸﾙ工場	m^3/t	足立栄治	ｲﾝｺﾞｯﾄ冷却の適正化 手洗い等の節水	0.205	0.204	0.204
		増減				0.05%減	0.05%減
化学物質排出量削減	熊谷 ﾘｻｲｸﾙ工場	－	足立栄治	装置の適正な運転	－	自主基準 以下	自主基準 以下
ｸﾞﾘｰﾝ購入	全社	－	木暮栄理子	ｺﾋﾟｰ用紙は全量「ｸﾞﾘｰﾝ購入適合品」とする	－	全量適合品	全量適合品
受託産廃収集・運搬における環境配慮	本社 (一般･産業廃棄物)	－	栗原雅樹	「産業廃棄物適正処理手順」による	－	「手順」遵守	「手順」遵守

2)環境経営計画の取組結果とその評価

前項の結果を踏まえた2023年度の結果を評価したものが以下の表である。

昨年新型コロナウイルスの規制が解除され景気の回復が見込まれたが、自動車業界の不正問題の影響を受け安定には至らなかった。

一部計画通りには行かなかったが、各部署長の指導により目標達成できたと考える。

引き続き日々の業務の中で数値を見ながら細かなコントロールを行う。

環境経営目標		単位	担当	環境経営目標の実績と評価 2023年度 目標値	実績	評価	備考
ｴﾈﾙｷﾞｰ投入量の削減 A重油　(原料投入量当り)	熊谷 ﾘｻｲｸﾙ工場	L/t	足立栄治	125.72	120.97	○	
		増減		―	3.82%減		
ｴﾈﾙｷﾞｰ投入量の削減 軽油　(走行距離当り)	本社 (輸送･原料)	L/Km	木暮　巧	0.341	0.347	△	
		増減		―	1.46%増		
ｴﾈﾙｷﾞｰ投入量の削減 軽油　(走行距離当り)	本社 (一般･産業廃棄物)	L/Km	栗原雅樹	0.228	0.212	○	
		増減		―	7.42%減		
ｴﾈﾙｷﾞｰ投入量の削減 軽油　(機械稼働時間当り)	特殊金属 ﾔｰﾄﾞ	MJ/h	井上弘行	182.77	161.60	○	基準値変更
		増減		―	11.63%減		
温室効果ｶﾞｽ排出量抑制 購入電力(原料購入量当り)	本社	MJ/t	木暮　巧 代　峰樹	56.37	47.4	○	
		増減		―	15.9%減		
温室効果ｶﾞｽ排出量抑制 購入電力(原料投入量当り)	熊谷 ﾘｻｲｸﾙ工場	MJ/t	足立栄治 代　峰樹	501.14	480.37	○	
		増減		―	4.19%減		
廃棄物の排出抑制 (従業員数当り)	全社	kg/人	栗原雅樹 (各部署責任者)	6.76	6.35	○	
		増減		―	6.07%減		
水資源(上水)投入量削減 (従業員数当り)	本社	m^3/人	栗原雅樹	12.29	11.96	○	
		増減		―	2.76%減		
水資源(上水)投入量削減 (原料投入量当り)	熊谷 ﾘｻｲｸﾙ工場	m^3/t	足立栄治	0.204	0.185	○	
		増減		―	9.76%減		

環境経営目標		単位	担当	環境経営目標の実績と評価			備考
				2023年度			
				目標値	実績	評価	
化学物質排出量削減	熊谷 ﾘｻｲｸﾙ工場	－	足立栄治	自主基準 以下	自主基準 以下	○	
ｸﾞﾘｰﾝ購入	全社	－	木暮栄理子	全量適合品	全量適合品	○	
受諾産廃収集・運搬に おける環境配慮	本社 (一般･産業廃棄物)	－	栗原雅樹	「手順」遵守	「手順」遵守	○	

※評価基準　：　○：目標達成　△：達成可能な遅れ　×：達成不可能（是正処置が必要）

3)次年度の取組内容

目標に届かなかった箇所は原因を探し出し対応に当たる。
自動車業界の影響がどこまで続くかわからないが、安定するまで細かくチェックを続ける。
引き続き従業員全員参加で進めていく。
環境経営目標は今年度同様とする。

5. 環境への負荷実績

2021年度から2023年度までの環境への負荷実績を以下に示す。

項目		単位	2021年度	2022年度	2023年度
温室効果ｶﾞｽ排出量	CO_2換算	Kg	3,666,107	3,404,268	3,427,369
	売上高当り	Kg/百万円	1,024	858	893
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	127.46	54.33	55.67
	一般廃棄物	t	1.45	0.90	0.49
	合計	t	128.91	55.23	56.16
	売上高当り	t/百万円	0.036	0.014	0.015
水資源投入量	上水	m^3	2,123	1,988	1,958
	売上高当り	m^3/百万円	0.59	0.50	0.51

注）温室効果ｶﾞｽ排出量については、購入電力(東京電力)の排出係数を0.376kg-CO_2/kwhとして算出した。
(2022年度)

6. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1)ばい煙及びﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の自主測定結果

2021年度から2023年度までのばい煙及びﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の測定結果を以下に示す。

「2021年度から2023年度(3年間)のばい煙及びﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の測定結果」

		測定部署	規制値	2021年度		2022年度		2023年度	
ばい煙	ばいじん (g/m^3_N)	集塵機	0.20	0.0010未満	ー ②	0.00099未満	0.0010未満	0.0010未満	0.00098未満
	窒素酸化物 (ppm)		180 (指導値：140)	41	ー	47	34	25未満	72
	いおう酸化物 (m^3_N/h)		①0.609②－③0.609 ④0.609⑤0.609⑥0.609	0.039 ①	ー ②	0.0064 ⑤	0.065 ⑥	0.016 ⑤	0.057 ⑥
	ばいじん (g/m^3_N)	廃棄物焼却炉	0.25	0.006	0.027	ー	ー	0.13	0.017
	塩化水素 (mg/m^3_N)		700	4.1	1.6	ー	ー	1.3	1.6
	窒素酸化物 (ppm)		適用外 (指導値：180)	61	48	ー	ー	52	53
	いおう酸化物 (m^3_N/h)		①6.11②6.18③－ ④－⑤5.23⑥6.05	0.19 ①	0.12 ②	ー ③	ー ④	0.012 ⑤	0.035 ⑥
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m^3_N)		集塵機	5 (自主基準:4)	ー		0.089		0.011	
		乾燥炉		0.0000021 (熊谷市任意立会検査結果)		ー		0.22	

注)2023年度ばい煙及びﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の測定結果は、指導値及び自主基準を含め全て満たしていることを確認した。

2)熊谷市環境部環境政策課様の任意立入検査の結果

2-1)任意立入検査年月日：　今年度無し

2-2)検査項目：

2-3)検査結果：

3)環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の違反及び訴訟等はありません。

環境関連法規等の順守一覧

法規制	主な要求内容	順守評価
大気汚染防止法	設置届出、排出ガス測定義務	○
ダイオキシン類対策特別措置法	設置届出、排出ガス測定報告義務	○
騒音規制法	設置届出	○
振動規制法	設置届出	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業届出、実績・管理票報告	○
消防法	適合、維持	○
浄化槽法	水質測定、維持管理	○
フロン排出抑制法	定期簡易点検	○
家電リサイクル法	廃棄物の適正な処理	○
自動車リサイクル法	適切な役割分担	○
オフロード法	特殊自動車に対する排出ガス規制	○

7. 最高経営責任者による全体評価と見直しの結果

２０２３度も外的要因が多く安定しなかった。
政府のエネルギー補助金が無くなるとエネルギーコストが跳ね上がる事になるので効率を高め、支出を減らす事により目標達成できるよう心掛ける。
日々の業務の中で数値を見ながら細かなコントロールを引き続き行う。
大きな事故が無く、引き続き安全第一でお願いしたい。

8. 地域活動

ごみゼロ運動等、地域の催しに対し積極的に活動している。
また、環境美化活動日を各部署で決め、社内外の環境美化を行っている。